

第114号

編集・発行
2018・2・20

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132
三戸町大字在府小路町17
0179(22)0262

さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



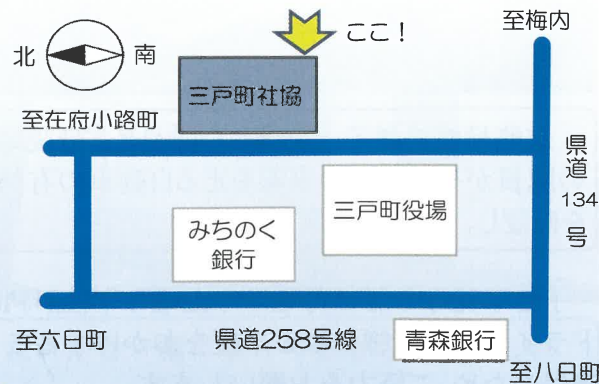
子ども見守り隊による道路横断見守りの様子
(H30年1月15日 久慈町バス停横断歩道にて)

■おもな内容

ページ

- 子ども見守り隊 児童の下校時の横断を見守り… 2
- 寿なかよし会日帰り旅行を開催しました …… 3
- 三戸町老人クラブ連合会
創立 50 周年記念式典が開催されました …… 4
- 憩いの森あすもこっのクリスマス会の様子 …… 5
- 福祉安心電話サービスのご紹介 …… 6
- 昔とった杵柄 シルバー健在 …… 7
- 善意の窓、心配ごと相談
資金の貸付制度のご紹介 …… 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

子ども見守り隊 児童の下校時の横断を見守り

地域住民8名で組織された『子ども見守り隊』が、平成30年1月15日の始業式に合わせ、低学年児童が安全に道路を横断できるように見守り活動を行いました。

子ども見守り隊の活動は、交通量が多く見通しの効きづらい久慈町バス停の横断歩道を対象に、スクールバスを利用する低学年児童の下校時間に合わせて行われています。

通常の活動日は隊員2名が日替わりで活動していますが、この日は8名中6名の隊員が集い、子ども達に交通安全を呼びかけながら、優しい笑顔で見守り活動をしていました。

『子ども見守り隊』

平成29年1月に地域住民8名で組織。交通量が多く、横断する児童も多い久慈町バス停を対象に、毎週月曜から金曜、低学年児童の下校時間に合わせて、隊員2名が日替わりで活動中。

トレードマークは『子ども見守り隊』の文字が印字された緑のタスキ



バスを降りる子ども達を隊員達が出迎え。
この日は隊員の愛犬ミルクちゃんも見守り活動に参加しました



隊員が子ども達の列の先頭と最後尾に立ち、
バス停から横断歩道まで誘導する様子



道路横断の様子。先導した隊員と、最後尾の隊員がそれぞれの車線を走る自動車の有無を確認し、安全を確保しています



子ども達と一緒に道路を渡る隊員の様子。
子ども達も安心して道路を横断しています

子ども見守り隊は月曜から金曜の午後3時40分頃、久慈町バス停の横断歩道で行われています。ドライバーの皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、子ども達の下校時の安全確保のため、ご協力をお願いします。

子ども見守り隊の皆さん、普段から見守り活動をしていただき本当にありがとうございます。寒い日が続きますが、これからも宜しくお願いします。

寿なかよし会 日帰り旅行を開催しました

毎年恒例の寿なかよし会日帰り旅行を平成29年11月8日、9日の2日間に渡って開催しました。

今年度は、岩手県八幡平市の新安比温泉「静流閣」を会場に、町内の60歳以上の方49名が参加され、温泉と食事、歌や踊りを楽しみました。



新安比温泉のエントランスをバックに記念撮影。2日間とも天候に恵まれたこともあり、参加された皆さんの笑顔が素敵でした



全員で手を合わせて「いただきます！」
美味しそうな料理が並びます



美味しい食事を楽しんだ後は音楽をかけて
踊りの時間。踊りの輪も自然と広がっていきま
した



カラオケでデュエット。ひとりで歌うのも、だれかと一緒に歌うのもどちらも楽しい
ですね



たくさんのご参加ありがとうございました！

三戸町老人クラブ連合会 創立50周年記念式典が開催されました

三戸町老人クラブ連合会（会長：山下正一さん）が創立50周年を迎え平成29年12月20日に記念式典と芸能発表会が町民体育館で開催されました。

当日は、多数のご来賓のご臨席のもと、老人クラブ連合会会員172名が参加されました。

また、記念式典の席上において、多年に渡って老人クラブ連合会の発展に寄与された会員11名に対して表彰状が、90歳以上で現在も積極的にクラブ活動に参加されている会員3名に対して顕彰状が贈呈されました。

記念式典閉会后、祝宴を挟み午後からは芸能発表会が催され、32名の会員が歌や踊り14演目を披露し、大盛況のうちに閉会となりました。

この式典の開催にあたり、昭和42年の老人クラブ連合会設立から現在までのあゆみを掲載した記念誌が発行され、参加された皆さんは一樣に当時の思い出を懐かしんでおられました。記念誌は各単位クラブを通じて全会員に配布されます。



式辞を申し述べる三戸町老人クラブ連合会
山下正一会長



表彰状の贈呈を受ける三戸町老人クラブ連
合会10代目会長松原金治さん



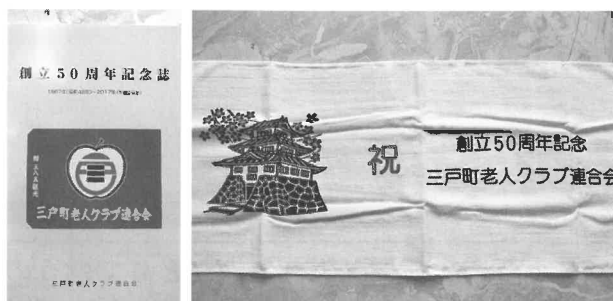
受賞者を代表して謝辞を読み上げる松原
清治さんと、表彰を受けられた皆さん



祝宴の様子。美味しいお弁当に会話も弾み、
賑やかな祝宴となりました



芸能発表会の開幕を務めた、総勢7名に
よるもちつき踊りの様子



50周年記念誌と記念タオル

憩いの森あすもこっのクリスマス会の様子

NHK歳末たすけあい助成金を活用し、本会で運営する地域活動支援センター「憩いの森あすもこっ」のクリスマス会を平成29年12月25日に開催しました。

通所されている皆さん自身の手でクリスマスツリーを制作し、会場を飾り付け、のど自慢大会やビンゴゲーム、トランプゲームを楽しみました。



自作のクリスマスツリー。この日を迎えるのをとても楽しみにしていました



全員で飾り付けた会場。いつもの場所も華やかになりました



ビンゴゲームの様子。真剣な表情でビンゴカードを見つめています



のど自慢大会。好きな歌を歌うと笑顔がこぼれます



トランプでババ抜き。真剣勝負です



最後は全員で記念写真。楽しい時間を過ごされて、素敵な笑顔です



家で転んで動けなくなったら誰か気付いて
来てくれるだろうか…
急に具合が悪くなったら、果たして自分で
救急車を呼べるかなあ
火事を起したらどうしよう…

こうした不安をお持ちの方、福祉安心電話を利用してみませんか？

ボタンを押すだけで 24時間 対応します。



あなたの希望にあわせて対応します。



救急車を呼んだり、協力員に行っていたり
いたします。

中央センターに（青森市）につながります。

折り返しあなたに
電話をして
あなたの様子を
おうかがいいたします。



地元の社会福祉協議会につながります。



日頃困っていることや連絡すること、福祉
サービスの相談など、何でもお話しください。

※地元の社会福祉協議会が不在のときは、
中央センター（青森市）につながります。



※電話に出られなくても、スピーカーで
そのまま話しかけます。

もし応答がなかったら

協力員があなたの家につけつけます。



あなたの状態に合わせて対応します。

安心電話の三大機能

緊急ボタンとペンダント



ボタンを押すと、青
森市の中央センター
が対応し、あなたの
状況を聞き取りして、
救急車や協力員を
呼びます！

火災報知器

火災は火災報知器が自
動で発見。中央センター
に通報が行き、同時に
機械が「火事です」と
警報を発します！



相談ボタン



相談ボタンを押す
と三戸社協につな
がります。
普段の困りごとや
悩みごとの相談に
お使いください。



どんな人が使えるの？

ひとり暮らしで不安、高齢者夫婦で不安、持病や障がいがあるので不安など、
様々な理由で使うことができるので、まずはご相談ください。



料金はどのくらいかかるの？

安心電話の料金は工事費、月額などすべて無料です。費用は三戸町からの補
助金と青森県社会福祉協議会からの助成金で賄われています。ただし、紛失や
破損された場合には別途費用がかかる場合があります。

昔とった杵柄

シルバ―健在



工藤和子さんの巻

昭和十年五月十九日生まれ 八十二歳



日本ダンス技術検定機構の認定トロフィー

朝五時、目覚ましの音楽が鳴り響き飛び起きる。
ご両親と旦那さんをおよそ二十年に渡って介護された、工藤和子さんが今回のシルバ―健在です。
工藤さんは昭和十年に七人姉妹の長女として三戸町に生を受けました。
教師のお父様や叔父様の背中を見て育つうち、自らも自然と教師を志していたという工藤さんは、三戸高校を卒業後、弘前大学野辺地分校に進学されました。
弘前大学では、小学校教諭と中学校の保健体育教諭の免許を取得し、旧中沢村(現八戸市南郷)の市野沢小学校に赴任、昭和三十一年のことです。
交通網がいまほど整備されていない時代、赴任の挨拶

のために初めて市野沢小を訪れたときは、剣吉駅で汽車を降りると、そこから片道二時間をかけて雪道、泥道を歩いたそうです。
さぞ大変だっただろうとお話を聞くと「いつかまた歩いてみたい。医者には途中で倒れたら電話をくれと言われている」と笑って話しておられました。
四十年間の教師生活のうち、二十四年間を町内の小学校で教鞭をとった工藤さん、工藤さんから学んだという方も多いのではないでしょう

です。それから、平成七年に退職されると「これからは自分のために時間を使おう」と、退職後の生活を思い描いていたそうです。その二年後の平成九年、それまで様々な役も引き受けていたお父様の様子が八十六歳を迎えるころから徐々に変わってきたそうです。
当時の様子を平成十七年発行の公務員退職者の会の会報にこう綴っています。
普通でない行動があったり、話もちぐはぐだったたり、徘徊も始まって目が離せなくなってきた。
この時から私の介護の日々が始まった
お父様の介護の日々を工藤さんが記録されたものを抜粋してご紹介します。

重度の「老年痴呆」と診断を受ける自支えがなければ座っていられなくなった
痴呆が進行、寝たきりの状態
こうした状態に関する記述に加え、こんな記述も。
暑い夏、父はエアコンのついた部屋でクラシックを聴く至福の時を過ごす
眠る時間が長くなり一日の大半は眠っている。永遠の眠りにつくための準備期間なのだろう
お父様は平成二十一年にこの世を去ります。九十九歳の大大往生でした。その翌年、お母様が九十八歳で旅立ちました。「父を見送って安心したのだから」と話すように、安らかな最期だったそうです。
さらにその翌年、今度は長年連れ添った旦那さんが倒れ、再び介護の日々に。
旦那さんは八十一歳の誕生日を迎えた翌日、静かに息を引き取りました。
「くくなる前日はすぐおだやかだった。主人のような一本気な人はいつまでも自分の意思を貫くし、父のように静かな人は静かに逝く。それまで生きてきた延長線上に老後はあるのだ」と今は感じている」と話しておられました。

平成十三年には本会主催の『介護者のつどい』に参加したことをきっかけに、在宅介護をしている方で組織された『ひまわりの会』の初代会長に。退任されたいまも介護の先輩として良き相談役になつています。
また、介護をされた経験から健康長寿でいることの大切さを感じ、いきいき百歳体操のリーダーに。地域の健康づくりに貢献されています。
そんな工藤さんの趣味のひとつが社交ダンス。お父様の介護の間、三十分ばかりの時間を作って、和田ダンス教室の二十分レッスンに通い始め、いまでは日本ダンス技術検定機構認定の最高位「スーパーファイナル」の腕前。「介護をしていなかったらダンスも始めていなかっただろう」と工藤さん。
取材中、終始笑顔でお話を聞かせてくださった工藤さん。在宅での介護には想像に難くありません。ですがそんな時も「実家に帰らせていただきます！」という言葉は私は言えなかったのだ。だって私の実家はここなんだもの」と明るい笑顔、これから元気です！

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。
(平成29年12月1日～平成30年1月31日まで)

寄附金の部

- ・三戸町職員退職者福祉会 様
..... 5,000円
- ・立正佼成会 八戸教会三戸支部 様
..... 30,000円
- ・橋爪商事(株) 三戸支店 様
..... 7,000円

寄せられた善意は、福祉基金に積み立て、地域福祉活動のために使わせていただきます。

心配ごと相談

心配ごと、困りごと、何でもご相談ください!

毎月10日、20日、30日

土日、祝日の場合は、直後の最も近い平日に開設します。

●場所／三戸町総合福祉センター 3階
小会議室3

●時間／午後1時から午後3時まで

資金の貸付制度のご紹介

社会福祉協議会では、失業や病気、低所得などでお困りの世帯に対する貸付事業を行っています。様々な制度がありますので、おひとりで悩まず、まずはご相談ください。

失業などでお困りの方、冠婚葬祭などで一時的に資金が必要な方

◆三戸町たすけあい資金◆

年金や失業保険等が給付されるまでの一時的資金の貸付制度です。

金 額：最大 5 万円まで

◆緊急小口資金◆

青森県社協で実施しており、たすけあい資金同様に一時的な資金の貸付制度です。

金 額：最大 10 万円まで

◆総合支援資金◆

青森県社協で実施しており、再就職までの生活費等の支援を行います。

金 額：月額最大 20 万円まで

期 間：最大 12 ヶ月まで

進学にかかる費用や在学中の学費などでお困りの方

◆教育支援資金◆

高校や専門学校、大学の学費や生活費として利用できる貸付制度です。

金 額：高校の場合 月額 3 万 5 千円まで

短期大学の場合 月額 6 万まで

大学の場合 月額 6 万 5 千円まで

◆就学支度資金◆

高校や専門学校、大学に入学するための入学金や教科書代等に利用できる貸付制度です。

金 額：最大 20 万円まで

※教育支援資金、就学支度資金は併用が可能です。また、返済は卒業後 6 ヶ月経過するまで据置が可能です。

※この他にも様々な制度がございますので、まずはご相談ください

(担当：平山)

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262